

(一社) 千葉県冒険遊び場ネットワーク会報誌

# ちばぼろ



ち いきのなかで ぼ んばんあそべる ぼ うけんあそびばも う ーんとふやそう!

令和2年10月創刊

## テーマ 『みんなで考える遊び場づくり』

- 新型コロナウイルスによる活動自粛中の《子どもの声》アンケート
- プレーワーカー研修 BASIC コース報告
- こあつまりってどんなことしてるの?～参加者インタビュー～
- 出張研修報告～富津プレーパーク～



子どもたちにより幸せな子ども時代を

発行 一般社団法人千葉県冒険遊び場ネットワーク



## ■プレイワーカー研修 BASIC①②開催しました。

### ① 7/15 プレーパークについて

会場とオンラインのダブルツールで、プレーパークの共通理解・プレイワーカーの役割、スタッフのやりがいについて学びました。一から現場を作り上げてきたからこそその思いがぎっしり詰まった研修になりました。

#### ●参加者より●

- ・プレーパークの理念について改めて理解することができた。自由＝無法地帯ではないこと、自由だからこそみんなで考えていくことができるというマインドの大切さ、それが子どもたちにどう影響しているか…これらを改めて理解できた。
- ・プレイワーカーは「子どもたちと遊んでくれる人、盛り上げてくれる人」ということではなく、子どもが主体性をもってチャレンジし、考えて行動できるようにサポートする役割と理解した。



### ② 9/17 リスクとハザード・危機管理

子どもたちの遊びの事例を踏まえながら、グループワークや立場を代えての考察、何のためのリスクなのか、スタッフ間のコミュニケーションや共通認識の重要性、団体としての危機管理について、オンラインで学びました。

#### ●参加者より●

- ・子どもの年齢や子どもたちの関係性を考慮して、ハザードもあることを考える必要があることを学びました。職業柄（放課後子ども教室の支援）、お母さんたちはリスクも全部ハザードにしがちなのはなぜ？とっていました。今後、「リスク」の大切さを伝えていきたいと思いました。
- ・遊びのPDCAサイクルが回っているかを意識して、リスクとハザードについても考える。日頃からスタッフ間でコミュニケーションをとり共通認識をもつことが大事。



## ■こあつまり開催しました。 @成田市保健福祉館

8/17（月）成田おむすびプレイパークがある成田市で開催しました。コロナ禍での開催ということで、会場＋オンラインという初の試みでした。コロナ禍でどのようにプレイパークを開催したら良いのか、どのような対策をしているのか、悩んだり困っていることを相談したり、各団体の活動状況を聞き合い意見を交わしたりと、オンラインも会場のどちらも、参加する皆さんの熱気を感じました。



### 【今後の予定】

- ・11/18（水）  
プレイワーカー研修③『子どもの発達』
- ・12/14（月）こあつまり
- ・1/20（水）  
プレイワーカー研修④『遊び研究』
- ・2/8（月）こあつまり
- ・3/17（水）  
プレイワーカー研修⑤『プレーパークの運営』

## ■こあつまり参加者インタビュー ～プレーパーク船橋を運営しているお二人にお話を伺いました！～

【質問】①こあつまりに参加して良かったこと、役立ったこと ②継続してこあつまりに参加する理由 ③こあつまりに一言

- ① 立ち上げ時に役所関係へ一緒にまわってくれたこと。とにかくまずは声を上げるよう後押ししていただいたこと。他団体の活動を知ることによってこんなことをやってみたいというきっかけになったり、いつでも相談し合える仲間がいることで安心して活動できる。
- ② 活動を進めていく上で出てくる課題（行政との関わり方や助成金について等）について相談できる。他団体の活動状況を知って、自分たちの活動にも取り入れる。モチベーションアップにも繋がる。
- ③ こあつまりへの定期的な参加、プレーパークの活動と並行して、我が子の子育ても少しずつ変化したように思います。これからも皆さんのご意見を参考にしながら地道に活動を続けていきたいです。《齋木さん》

- ① 日頃の困り事に関して他のプレーパークでの対処法を聞けること。他のプレーパークではどんな風に活動しているのか情報収集ができること。子どもたちに遊び場を届けたいという同じ思いを持って活動している皆さんから刺激を受け取れること。具体的なやり方や対応の引き出しが増え、視野が広がること。
- ② いつ参加しても何かしら気づきや受け取るものがあり、プレーパークがいつも変わらずにそこにあり続けるための努力も、もっとこうしてみよう！のチャレンジもバランス良く色んな刺激があって、励みになっているからです。
- ③ 手探りで運営していく中では色々なことがあるのですが、こあつまりが定期的にあることがモチベーション維持に役立っています。《南山さん》



齋木敦子さん



南山聡子さん



## ■出張研修報告～富津プレーパーク～

NPO 法人森林デザイン研究所の依頼を受けて、出張研修を実施しました。講座と実践をセットにしたプログラムで、これからスタートしようとする団体のサポートをしました。

10/23 プレイワーク講座（座学）

10/27 プレ開催（下見）

11/30-12/1 プレーパーク開催



街の緑の活用を考えるボランティアです。公園でキャンプを行った時、地面近くの太い枝の上に、子どもたちが数人乗っかり、みんなで揺すって、いつまでも遊んでいました。見守る側は枝が折れないかハラハラしていましたが、子どもたちの楽しそうな顔が忘れられません。こういったことがシステマティックにできないかと調べるうちに、ちばぼうにたどり着きました。講師の派遣を突然お願いして、一般講義と子どもたちを交えた実習という形態で、プレーパークを実施しましたが、子供たちの見守り方や安全対策など、技術と経験の深さを感じました。今後も、ちばぼうの皆さんとの交流を密にしつつ、研鑽を積み重ねながら、富津地域の子どもたちがプレーパークを楽しめる環境づくりに努めたいと考えています。（NPO法人森林デザイン研究所 石田晶久氏）

## 出張研修・講演承ります

- ・出張プレーパーク開催、遊び道具の貸し出し など  
（講演内容例）
- ・プレーパークとは、リスクとハザード、子どもの発達、遊び研究、ロープワーク など

『千葉県冒険遊び場ネットワーク』は、ゆるやかにつながってきた千葉県内プレーパーク活動団体のネットワークをさらに広げ、充実した活動をしていくために、2011年6月から県内市民団体が協力して設立した団体です。

ちばぼうでは、情報交換や合同の研修会を行い、各団体の課題解決や、それぞれの団体でえたことを他に活かしていくことを目的としています。

## 賛助会員募集

- ◆正会員 中心になって運営に関わります。  
【団体】年額 3000 円【個人】一口 2000 円
- ◆賛助会員 運営を資金面でサポートします。  
【団体】一口 3000 円【個人】一口 2000 円  
【振込先】千葉県冒険遊び場ネットワーク  
ゆうちょ銀行：〇五八 普通 8896533  
郵便局：記号 10510 番号 88965331

## ●編集後記●

ちばぼうとして初めての会報誌です。普段違う地域で活動しているメンバーで【ちばぼう広報部】を結成して一緒に考えて作りました。楽しかったです。

これからも会報を作っていきます。よろしくお願ひします。

## 【事業内容】

**遊び場をつくる人を育てます**

プレイワーカー研修事業

**遊びの大切さを伝えます**

遊び場についての情報交換

遊びについての講演会

出張プレーパークの開催

**新たな遊び場づくりを応援します**

交流会「こあつまり」の定期開催

遊び場の立ち上げに必要な手続き等のサポート



## 【お問い合わせ】

(一社)千葉県冒険遊び場ネットワーク (Chibabo!)

〒264-0037 千葉県千葉市若葉区源町 541-4

千葉市子どもたちの森公園

TEL : 043-254-2328

メール : chibabo.net@gmail.com

Facebook : <https://www.facebook.com/chibabo.net>

HP : <https://playpark-chiba.org/>

